

「現代アート」とは何か？

～マルセル デュシャンを巡って～

マルセル デュシャンの作品、俗に言う『大ガラス』や『遺作』が世に現れたとき、多くの人々は「奇を衒うおかしな作品」と非難し、全く理解できずに眉をひそめる人も少なくありませんでした。しかし、その後じわじわと影響を広げ、「美術」の枠を越え、音楽、演劇、映像、コンピューターなどを取り込んだ自由な表現、即ち今日「現代アート」と呼ばれる造形を生み出すに至りました。この講座では、多くの画像資料と映画上映を交え、デュシャンから現代アートへの変遷と、今日の様相について考察します。



講師

桑原 鑛司

Kuwabara Hiroshi

洋画家・AAIC企画委員会委員長

1979年 岐阜県美術館開設準備室勤務
1982～86年 岐阜県美術館学芸員
2009～12年 ヤマザキマザック美術館学芸室長
2015年～ Art Award IN THE CUBE
企画委員会委員長

会場 飛騨高山まちの博物館 研修室 / 高山市上一之町75

定員 各回20名(要事前申し込み) ※申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。
各回のみ参加も可能ですが、より理解を深めるため2回シリーズを通しての参加がお勧めです。

参加無料

第1回

7.25 | 土 | 13:30～17:00



©2017 Hells Kitten Productions, LLC. All rights reserved.
LICENSED BY The Match Factory 2018 ALL RIGHTS RESERVED
Licensed to TAMT Co., Ltd. for Japan
Photo by Bobby Grossman

映画上映

バスキア、 10代最後のとき

すべては、ニューヨークからはじまった。

アートを凌駕し、ファッション、音楽をも刺激する天才アーティストは、どのように生まれたのか？ 没後30年の今、その秘密に迫る！

ジャン＝ミシェル・バスキア没後30年記念製作

監督:サラ・ドライバー 『豚が飛ぶとき』

出演:アレクシス・アドラー (生物学者)、ファブ・5・フレディ (ミュージシャン)、リー・キュノネス (グラフィティ・アーティスト)、ジム・ジャムッシュ (映画監督)、パトリシア・フィールド (ファッション・デザイナー)
原題:BOOM FOR REAL:The Late Teenage Years of Jean-Michel Basquiat
2017年/79分/アメリカ/字幕:石田泰子/提供:パップ/配給・宣伝:セテラ・インターナショナル/宣伝協力:テレサ

第2回

8.1 | 土 | 13:30～17:00



©2017 zero one film, Terz Film

映画上映

ヨーゼフ・ボイス は挑発する

彼は社会を彫刻した。

第二次世界大戦後のドイツ。美術館を飛び出し革命を叫んだ芸術家、ヨーゼフ・ボイス。世界中を攪乱し「芸術」を変えた男のドキュメンタリー。

監督・脚本:アンドレス・ファイエル

出演:ヨーゼフ・ボイス、キャロライン・ティズダル、レア・トンクス・ストリノリス、フランツ・ヨーゼフ・ファン・デア・グリンテン、ヨハネス・シュトゥットゲン、クラウス・シュテーク
2017年/ドイツ/107分/ドイツ語、英語/DCP/16:9/5.1ch/原題:Beuys
学術監修:山本和弘 字幕翻訳:渋谷哲也 配給・宣伝:アップリンク

「現代アート」とは何か？

～マルセル デュシャンを巡って～

1910～20年代にヨーロッパから当時の前衛芸術がニューヨークにもたらされた時、それはModern Artと呼ばれ、日本では「現代美術」と訳された。その主な内容は印象派、フォービズム、キュビズムであった。

1960～70年代以後の日本ではモダンアートは、コンテンポラリーアート (Contemporary Art = 今日の美術) とほぼ同じ意味で使われている。「モダンアート」の意味するところは時代によって状況によって多少の異なりをみせるが、しかしここまでは、Artの訳は「美術」で問題はなかった。

ところが、この時代にあつてマルセル デュシャンは他とは全く違う考え方を示していた。彼はそれまでの価値観を全否定し (ダダイスム、1920年代)、ついで「大ガラス」(1915～1923制作) や「遺作」(1946～1966制作) によって視覚による作品 (絵画、彫刻) を否定、思考する作品、哲学する作品 (コンセプチュアルアート) を提唱した。

この流れは1960年代の後半以降パフォーマンス、ハプニング、インスタレーション、ビデオアートなどの新しい表現活動をもたらした。それらは「芸術

は社会に対し何をなし得るか」を問いかけるもので、芸術家が身体を使って行う様々な表現活動であり、絵画や彫刻とは異なるものであった。これらの活動の遂行者には美術、文学、演劇、音楽、舞踊などに関わる人たちが、中でも美術に関わる人たちが多かったため、その有形、無形の作品は美術の分野で扱われて来た。しかしこういった状況は、美術を従来どおりの絵画や彫刻のことだと思っている人々にとっては、いささか違和感を感じざるを得ないことであった。「これが美術？」という疑問である。ここに至って問題が生じた。アート≠美術という事態である。アートの訳語として美術という言葉は具合が悪い。そこでこの頃では、現代美術という言葉に代えて「現代アート」という言葉が盛んに用いられるようになった。今ではコンセプチュアルアート及びそれに続く一連の動きは、再び絵画、彫刻を取り込み、同時にパソコンやAIを駆使し、自由表現とでもいうべきジャンルを展開しつつあるように思われる。

このような1900年代の美術史の流れを踏まえて、「現代アート」とは何かを考察する。

桑原 鑛司

清流の国ぎふ芸術祭 アート体験プログラム

アートラボぎふ

「アートラボぎふ」は、岐阜県全域をアートの実験場 (ラボ) に見立て、大人も子どもも県民の誰もがアートに出会い、触れて、知り、体験・発信できる体験プログラムとして、「ぎふ美術展」や「AAIC」への参加にもつながる内容としてご提供していきます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からワークショップの様式を再考し、オンラインでの開催、映像アーカイブ、ネット配信による座学、体験講座などを組み合わせた新たなスタイルの体験プログラムを展開します。

要・事前申込み

下記をご記入の上ファックスまたは下記の内容をメールにご記載の上、アートラボぎふ事務局までお送りください。

ご希望のプログラムにチェックを入れてください。 ※より理解を深めるため2回シリーズを通しての参加がお勧めです。

<input type="checkbox"/>	7.25 土 第1回「バスキア、10代最後のとき」 映画上映×レクチャー 締切 7.23 木 先着順	<input type="checkbox"/>	8.1 土 第2回「ヨーゼフ・ボイスは挑発する」 映画上映×レクチャー 締切 7.30 木 先着順
代表者名	必須 (よみがな)	年齢	性別 ※自由記載
ご住所			
メールアドレス	必須	電話番号	必須
ご参加人数	名(代表者様を含めた合計人数)		
2名以上で参加される方は、お連れ様全員の「お名前(よみがな)」「性別 ※自由記載」「年齢」をご記入ください。			
〈例〉 岐阜好子(ぎふよしこ) 女 24			

安心してプログラムに参加いただくために、参加者の皆さまに以下のご協力をお願いいたします。

- 当日は必ずマスクの着用、アルコール消毒の実施にご協力をお願いします。
- 受付時に検温の実施、チェックシート (渡航歴や体調など) の記入にご協力をお願いします。
- 風邪のような症状がある方は、ご参加をお控えください。
- 以上の注意事項をお守りいただけない場合は、参加をお断りする場合があります。

※受付は先着順となります。定員に達した時点で締め切らせていただきます。

※今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、内容の変更、開催時期の延期または中止とする場合があります。

※お申込み情報は本事業の運営のみに使用させていただきます。

 **0584-71-6130**
FAX



artlabgifu@ne-planning.com
E-MAIL

お問い合わせ

アートラボぎふ事務局 平日9:00 - 18:00

0584-71-6133

お申し込み用紙や
その他のプログラムは
こちらをチェック!

ウェブサイト

www.gifu-art.jp/art-labo/

